

# 議会広報広聴委員会記録

令和2年10月2日（金）  
8時57分～11時49分  
第4委員会室

- 【出席者】三浦委員長、西川副委員長、  
村武委員、川上委員、小川委員、野藤委員、笹田委員、芦谷委員、  
佐々木委員、澁谷委員  
【事務局】近重係長、小寺書記  
【印刷業者】柏村印刷株式会社 山田次長

## 議題

### 1 はまだ議会だよりVol. 59の編集について……………資料1

#### (1) 校正作業

ページ	担当委員	記事
1-4	村武委員 笹田委員	表紙、目次、9月定例会議ポイント、トピックス、 賛否、陳情、討論、議会ニュース
5-9	芦谷委員 佐々木委員	議会が厳しくチェック 個人一般質問（15名分）
10-13	川上委員 澁谷委員	個人一般質問（8名分） 市民対談
14-16	小川委員 野藤委員	委員会活動レポート、読者アンケート、 12月定例会議日程、あとがき

#### (2) その他

### 2 市民一日議会について……………資料2

#### (1) 企画概要確認

#### (2) 実施日及び役割等検討

#### (3) その他

### 3 その他

#### (1) はまだ議会だよりmini発行

【次回委員会開催予定】令和2年10月28日（水）午前10時00分～ 第4委員会室

【議事の経過】

[ 08時57分 開議 ]

三浦委員長 | 議会広報広聴委員会を開会する。出席委員は10名で定足数に達している。配信済みの議題に沿って進める。

1. はまだ議会だよりVol. 59の編集について

(1) 校正作業

(2) その他

三浦委員長 | 事前にページの割振りをさせていただいているが、少し時間を取ったほうがよいか。

野藤委員 | 読者アンケートをまだ見てなかったの。

小寺書記 | 資料1-2に入っている。

野藤委員 | 昨日見た時にまだなかったの、時間を取っていただきたい。

三浦委員長 | では10分ほど時間を取る。

《 資料確認 》

三浦委員長 | そろそろよろしいか。

( 「はい」という声あり )

では校正作業に入りたい。まず今回の紙面リニューアルにあたり柏村印刷には、こちらからの要望を反映していただき感謝する。今日もまたいろいろ出るかもしれないが引き続きよろしく願います。では1ページ目から願います。

《 以下校正作業 》

2 市民一日議会について

(1) 企画概要確認

(2) 実施日及び役割等検討

三浦委員長 | まず企画概要の確認をしたい。小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記 | ( 以下、資料をもとに説明 )

三浦委員長 | 正確に言うと委員会改選前なので、おおむねおられるが当時の小川委員長のもとで視察に犬山市に伺った際に伺った市民一日議会を参考にして浜田市でもどうだろうかということを検討する時に作成した当時の資料である。

議会報告会をああいいう形で見送ろうという中で申送りもあった市民一日議会を実施してはどうかということで、先般の代替案ではないが、広聴機能をこれからどのようにしていこうかという中に提案されていた案でもあるので、実現に向けて動いていきたいというところがあるのだが、改めて皆、市民一日議会の実施について、特定の項目だけでなく全般にわたってご意見を伺いながら、詳細を詰めていけたらと思っている。小川委員、思いがあるか。

小川委員

よいところまで行っていたのだがなかなか実現しなかったのは、どこか問題があったのかなと感じていた。当時副委員長だった川上委員といろいろ話をしながら、三浦さんに案ができたならそれに基づいて試行的にやってみようかというところまでいっていたもので。任務分担をどのように分けられるかといったところを相談すればよいのかなと感じた。そのあたりだけ気になっていた。

三浦委員長

川上委員はどうか。

川上委員

僕はそれでよい、あとは時期だけの問題である。いつやるかだけを考えれば、だいたい方向が出ると思う。

澁谷委員

来年改選期なので、もっと前倒ししないと。その辺のスケジュールを。

三浦委員長

そうしたら、企画については当初の委員会でも、ここでやろうと一応確認をしながら進めていたという小川委員からのお話もあったが、それを踏襲する形で路線はこの企画書に沿って進めていこうという形で、まずよろしいか。

( 「はい」という声あり )

佐々木委員

僕と野藤委員は視察に行っていないので、その時の感動が全然ないのだが、前からやるべきだということで進めてこられたので、非常に評価が高い物だとは思っているのだが。

三浦委員長

もう一度説明が必要か。

佐々木委員

説明はいらないが、すごくよいものだという感覚でずっと来られたのか。

三浦委員長

では私から説明しようか。

佐々木委員

野藤委員はどう思うか。

野藤委員

行ってないよなと思っていた。

佐々木委員

Y o u T u b e で様子を見た。実際の市民がやっている姿、それを受けた全員協議会での議員答弁などを見たのでだいたい雰囲気は

わかるのだが。

三浦委員長

先ほど配信してもらった市民一日議会の課題のところを見ていただくと、当初から議会報告会や地域井戸端会の実施方法について、このままでよいのだろうかという課題を委員会の中で共有されていた。出席者が毎回偏るということと、時間帯に配慮をしていかないとということ。今回は議会報告会は中止になったが、新しい会場や、時間帯を変更していったのは、当時からの課題意識があったということ。分担して地域に出ていくので、全員でその声、要望をその都度聞けないことも課題として挙がっていた。あとは、地域井戸端会だけでは出席者が偏ったり時間帯のこともあって拾える声、会話・対話ができる層が限られているので、改善方法が何か必要だという時に、犬山市が、市民に議場へ来ていただいて発言したい方から意見を聞くようなやり方、これは浜田では取り入れていないやり方だったのでどうだろうかということを検討していったという流れがある。この新しい手法の市民一日議会のポイントとしては、全員が一堂で話を聞けることと、開催日等も配慮しながら1日でイベント的に実施することで広聴機能を、スタンスとして議会として発信することも、新しいこういうやり方をすることで発信できるのではないかというところが、大きなポイントだったかと思う。

佐々木委員

その時に話をされたのは、これを始めた当時の議長さんご本人だった。

三浦委員長

はい、ビアンキ氏からお話を伺い、こういうやり方を導入していったということ伺った。

佐々木委員

そのビアンキ氏がこういう起案をして。

三浦委員長

はい。

佐々木委員

中心者ということ。

三浦委員長

はい。

佐々木委員

犬山市の現職議員に少し状況を聞いた。今は3年くらい。Y o u T u b e で全員協議会の様子を見たら、議長の裁きもすごかったが、それに対する各議員の反応している姿もすごくよかったので、とても仲のよい議会だというのが第一印象だった。だからできるのだなという感覚を持っていたのだが、電話で聞いたら、必ずしもそうではないということなので。むしろビアンキ氏に対する皆の信頼というか、あの人が言うならということでも進められたようなので。

それほど仲がよくななくてもできるようなことなら何とかいけるかなと感じた。

当初は毎議会ごとにやっておられたのが、今は回数が減ってきている。あとと言われていたのは、ビアンキ氏の支援者がどうも中心になって質問者になっておられたような。それがきっかけで広がっていけばよいのだが。難しいことをクリアしながらやっておられるので、やるとするとそれなりにハードルがあるのだろうと感じた。とりあえず挑戦してみてもよいかなど。いろいろ心配があった。例えば毎回陳情を出すような方が来られて、毎回毎回やるようなことも。一応ルール上決めてあるらしいが、確かにそのルールが通用するかどうかという問題もあるし、いろいろな不安があったので聞いたのだが、しかし皆でやることには別に反発するものではない。そういうことを感じながら、いろいろ勉強していた。視察に行っていないのでそれなりに。

野藤委員

私も最後に言われた部分。言いたいという方がおられた時にどうするのかなど。注意事項のところはその辺のことが、発言者の決定というところに書いてあったので、まあ内容を一応聞いて、どのようなことを言いたいのか聞いて決定するのがよいと思う。とにかくその辺が浜田の場合は少し気になったので。本当によい意見が出ればそれに越したことはない。ただ、今まで過去に何とか議会などいろいろあったが、議会側が働きかけたものではなく執行部側が働きかけた分だと思うが、過去に何度かある。

澁谷委員

女性議会がある。

野藤委員

女性議会や、女性だけでなく、私も団体活動をしていた時にやったことがある。そういうこともあって、仕込みではないが相当会議を重ねて当日を迎えた。だからどこまで手を入れるかということもあるのだが、シナリオというか。前向きに議会として取り組むのは賛成である。

三浦委員長

仕込みというのは。

野藤委員

例えば重複しているとか。

澁谷委員

どのように質問したらよいか、前もって議会側が指導する。

野藤委員

どういう発言をされるか事前の打ち合わせなど。

澁谷委員

一番難しいのは、執行権のない議員が聞いてどうなのかということ。回を重ねる時にそういう質問が多かったらどう返していくの

かが問題。議会の改革を促すことは議会のことだからよい。これはやってみないとわからない。聞きっ放しになってしまう。

野藤委員

そう、一日議会といって執行部側が見て、市民の側が出てきて、普通の議会のようにいろいろ聞くというスタイルが多いので、我々が聞くというところまで。執行権がないというのがある。それを具体的にどう返していくのかが気になった。地域井戸端会でも一緒だが。

澁谷委員

昔、本会議場を有効利用するというので音楽をやったりするのを視察したこともあるが、ああいうやり方よりもこれのほうがまだ議会らしい感じはした。

三浦委員長

せっかくなので、皆はどうか。

小川委員

今はY o u T u b eなどでも公開になっているし、議員の一般質問も市民が見ておられる部分が広がってきていると思う。その中で、あの程度という方もおられるかもしれない。あれなら自分でもやってみてやるという人がおられれば言ってもらいたいというのはあるのだが。最初に言われていたように、目的が広聴機能のチャンネルを増やすということだという位置づけからすると、確かに議会は執行権がないが、広聴機能の一つの手法だという位置づけであれば大丈夫ではないかと。今までだったら議会報告会や地域井戸端会などやってきたけど、今度は市民側が主体性を持って発言して意見を述べたい人は持ってくる、そういう意味ではとても画期的なやり方だと感じた。時期の関係も、8月くらいをめどにしてやれば市民に周知しながら工夫していけばできそうな感じがする。

三浦委員長

他にどうか。

村武委員

私も広聴機能としてやるのはよいと思う。多くの意見を言いたい方もいらっしゃると思うので、そういった方の機会を設けるのはよいと思う。スケジュールのところで、決まってから、自分が選ばれたところから時間的にも少し余裕を持って進められたほうがよいのかなと感じている。

三浦委員長

笹田委員はいかがか。

笹田委員

どうせなら高校生にも声をかけてやっていけば。しかしルールが必要だと思う。例えば、議会報告会をやっていて毎回同じ人がきて毎回クレームだけ言うようなことが結構あった。人数が少ない場合には抽選しようがその人がしゃべり出して、ずっとそういう形にな

っても本末転倒になるので、やるにあたってのルールづくりは必要だろうと思う。ただ、広聴という意味では、執行権がないにしても議会としてポイントを突くということで、非常によい一つのイベントになるのではないかと思う。

三浦委員長

芦谷委員はいかがか。

芦谷委員

犬山市の件を聞いて、浜田市でも女性や子ども議会をしたことがあると思う。後に続かないというのは、立派なものだが構えてやっても後がどうなるかという心配がある。

もう一つ思ったのが、この議場でやるのは、来る人にとっては初体験でよいかもかもしれないが、何か重たいので、いろいろな団体などへ出向いて行って、出前議会的なものの方が。先方の主催でやってもらったほうが。構えて仕込みがあったりするととても負担がかかるのと、後に続かない心配がある。ただ、これが決まればしっかり進めよう。

三浦委員長

芦谷委員から、構えて議場でやる方法だけではなくという、そもそもこの形についてのご意見があったが、皆はどう思われるか。

小川委員

形として今はコロナの関係があって来年のその時期にどうなっているかというのはあるが、今の本会議場でやるならできるかもしれないが、もし出向いていった場合もやはり、三密を避けるなど、今と同じような状況が続けば難しいと感じる。

また、出された意見に対してきちんと広聴機能だから、それに返していくために、多分犬山市もそうだったが、出された意見をどこが責任を持ってそれに応えるようにするか。常任委員会にそれを振るのか、この委員会の中で責任をもって答えていくか、流れというのも考える必要がある。

それを含めて、本会議場なら今でも時間短縮してでもできている関係で、そのほうが今ならよいかないという感じがする。

三浦委員長

その他にあるか。

川上委員

僕はもう、やろうや。1回チャレンジしよう。

三浦委員長

芦谷委員のご指摘も理解するところでもあるし、当委員会から各常任委員会に、それぞれの常任委員会の広聴機能も一緒になって高めていくというお願いもこれからさせていただくところなので。各団体へ出向いていくのももちろん一つのやり方ではあると思うが、議員全員でお話を聞く形もぜひやってみよう。前委員会からの申

し送り事項でもあるので、ぜひ実現に向けて皆でやっていきたいと思う。芦谷委員、ご協力をお願いします。

芦谷委員

はい。

三浦委員長

では皆で進めていこうという形なので、先ほど小川委員や笹田委員からもあったように、ルールやそうした流れというのはいま一度整理する必要があるかと思うので、そのところはまた次回以降の委員会で皆に投げさせていただきたいと思うが、大まかなスケジュールというか、このあたりにというところは少し決めておきたい。先ほど来、8月あたり、来年の夏あたりという声があるが、その他ご意見があれば。いかがだろうか。

野藤委員

来年の8月と言えはきついのではないだろうか。

三浦委員長

改選前でということか。

野藤委員

スケジュール的に。

近重係長

予定のことだが、議長会の関係を来年度四つ浜田が担当する。県、中国、全国、特三があつて。そのところもまた加味しなければいけないかなど。それとぶつかってしまったらまずいので。

西川副委員長

事務局案があるのか。

近重係長

例えば県議長会の議員研修会は例年8月上旬にあるので、今回それが流れて今10月になっている。その辺は皆も出られると思う。

三浦委員長

定例会議は6月、9月と予定されていて、それを避けて来年の春以降と考えると4月、5月、7月、8月。

近重係長

議会報告会は5月連休明けと10月というパターンで定まった。

澁谷委員

どのくらいで準備ができるか。

三浦委員長

先ほど村武委員のお話もあつたが、広報をするのに少なくとも1か月前にはリリースする。そのスピーチを準備していただく時間もそこから加味するとなると、1か月よりもさらに時間を取る必要があると考えると、多く見積もって2か月逆算して、その前にルール作りをすることと、チラシの制作、配布等を考えると、少なくとも半年前にはきちんとした形でスタートを切る。そうすると、今10月なので、例えば年内、年明けくらいまで詰めていけば、早くて1月にスタートとなっても6月になるので。日程的には夏くらいになると余裕はあるかなと思うが、もう少し前倒しすることも可能かなとは若干思う。

前の女性議会のご経験をうかがうと、テーマが被るなど、そのあたりのことも若干の調整というか、必要であるのかなとか。そうい



- 川上委員 ったこともこれから考えていかないといけない。
- 川上委員 その前に、今この委員会で考えているけど、対象は全議員になるので、その辺の話もしないと。
- 三浦委員長 もちろん。
- 川上委員 その辺も含めたらやはり6か月くらいがよいと考える。今からスタートして早くて5月。
- 三浦委員長 5月か、もう6月定例会議をまたいで7月か8月というのが、全議員にご理解もいただきながら進めていくとなるとそのくらいの時期が現実的かなとは思う。どうだろう、5月、7月、8月だったらどのあたりがよいか。
- 澁谷委員 今、近重係長が日程を見に行ったのだろう。
- 小川委員 やるなら徹底的に大宣伝してマスコミに向けても発して。ぜひ皆の声を聞かせてくれという格好で、力を入れてやっていただきたい。
- 野藤委員 広報も重要だが、ある程度打診も必要だと思う。でないと広報だけでは難しい。
- 小川委員 万が一全然応募がなかったということになれば、議会が責任を持ってそれこそ1人ずつお願いして歩くとか。
- 佐々木委員 お願いしますと声をかけないとなかなか。
- 川上委員 金城でも言いたい人が3人はいる。
- 三浦委員長 各自治区から出ていただきたい。
- 佐々木委員 犬山市の手法を見たが、議会そのものは議員が並んで登壇者の意見を聞いて、それに対して質問があればして終わるようだが、その終わった後の処理、捌きをどうするかが一番、議会として大きな事。市民一日議会がそれで終わってしまうが、その後その意見をどう反映させて生かしていくか。あれがかなりハードルが高い。
- 三浦委員長 犬山市だったら、所管委員会でそういう調査をして出すものもあるし、議長団がお願いしますとやったのもあるし、政策に詳しい一議員が調べたというのものもあるし、いろいろなケースがあるので、面倒なことはなかなか言えないが皆が協力してやらないとこれはできないので。やる側、受け側の姿勢がかなり問われる取り組みだと感じた。人任せだと絶対にできない。皆へ周知する意味でもしっかり皆にそれをお願いして、細かく決める前にこういう形で進めたいというところをまずお知らせして了解を取りながらやったほうがよい。
- 三浦委員長 そうすると、今のこの企画書をベースに、例えば全議員に予定も

- 含めてまずご案内、説明をさせていただき、そこで意見集約をして進めていくという感じがよいか。
- 佐々木委員 そのほうがよいと思う。何か進めているようだというよりは。
- 澁谷委員 会派で話し合ってもらうこともやっていかないと。その日欠席で聞いてないということになったら。
- 佐々木委員 委員長1人で責任を負う必要はないので、このメンバーなり会派の中で浸透してもらえばよいことなので。特に視察に行った人は肌で感じているのでしっかり伝えてもらうほうが。
- 澁谷委員 僕はビアンキ氏に叱られたくらいだから。
- 佐々木委員 そういう人だから他の議員があまり口出しできなかったのでは。自分の思いがすごく強い人なのだろう。
- 川上委員 6月、7月がちょうどよいのではないか。
- 三浦委員長 では7月。
- 近重係長 どこまでの話になるか。例えば執行部に出すという話にはならないか。そうなると基本総会は正副議長や議長のみが結構あって、全議員が出るとなると議長会の議員研修となる。
- 三浦委員長 7月はどうか。定例会議中は難しいかと思うが。
- 小寺書記 犬山市で言うと定例会議前の全員協議会のところで意見をいただいた分を取り扱いを協議されていたと思うので、6月の定例会議なら5月の全員協議会前にはやっておくということだったり、9月の前であれば8月の全員協議会前、7月末くらいのところでやるイメージかなと思っている。
- 澁谷委員 5月となると今から急いで準備しないと。
- 三浦委員長 どうか、7月をめどに進めて。土曜を。
- 川上委員 やるなら途中で全員協議会を入れてもよいではないか。通年議会なのだから。
- 佐々木委員 この捌きは全員協議会だから、そのために集まってもよい。
- 小川委員 質問がもし出れば、犬山市に視察した人が答えて、できるだけ早く全議員が共通認識を持てるように。ここだけで盛り上がっても仕方ない。
- 川上委員 7月の半ば過ぎにはもう全員協議会やってもよいではないか。
- 小寺書記 開催日に合わせてまたその後に全員協議会を開いて。
- 三浦委員長 そうしたら7月の土日あたりを目指して、こういうことをやっていきたいのだということ。

小寺書記 差し当たって11月の全員協議会がある。

三浦委員長 では11月までにルール作りをもう少し詰めたものを委員会で協議もさせていただいて、そこで皆にお諮りし、ご意見をいただきながら。

佐々木委員 Y o u T u b e も発信しておけばよい。犬山の様子がわかる。

三浦委員長 資料と一緒にそれも。では、そのように。また皆にご協力をいただくことになると思うが、引き続きよろしく願います。

小寺書記 考慮事項というのは参考でよいか。

三浦委員長 はい。

三浦委員長 では目を通しておいてもらいたい。

### (3) その他

三浦委員長 その他これに関して何かあるか。

小寺書記 来年度の実施となると思うので、予算要求をしていかないといけないと思っている。ちょうど10月から来年度予算の要求時期になってくるので、費用の部分も今一度精査をしっかりと上であげられるようにしたいと思う。どうぞよろしく願います。

三浦委員長 ではこちらで予算を作ってみて、皆に。

## 3 その他

### (1) はまだ議会だよりmini発行

三浦委員長 小寺書記より説明をお願いします。

小寺書記 昨日10月1日で議会だよりmini第1号目を発行したところである。引き続き、今度は1月1日を目指してやっていければと思う。新年1日、なかなか新しいことだと思うので、引き続きご協力をよろしく願います。

三浦委員長 皆もぜひ、こういうものが発刊されたということで周知をいただければ、よりこちらの紙のほうも見ていただけるのかなと思うので、ご協力をよろしく願います。

小寺書記 また次号に続いていくので、こういう記事を掲載したらどうかというご意見があればぜひお寄せいただきたい。よろしく願います。

西川副委員長 miniはせっかく作って、ホームページに掲載しているが、ホームページを見る人は少ない。以前も検討されていたがSNS、Facebook、インスタなどへ広げていかないと、作っても見る

- 人がなかなかいない気もする。1回議論もあったのかな、議会の F a c e b o o k という話もあったと思うが、その辺も改めて議論したい。せっかく作ったものが埋もれてしまうような気もする。
- 川上委員　　これは個々の F a c e b o o k に流しても構わないか。
- 三浦委員長　　もちろん。
- 川上委員　　その辺は自由にさせてもらう。
- 西川副委員長　　どんどんやってもらえば。
- 三浦委員長　　多少印刷して、例えば議会においておくことはできるか。
- 澁谷委員　　公民館など。
- 近重係長　　例えば皆がアンケートで回られることが直近であればと思ったのだが。
- 三浦委員長　　いや、例えばこれは各公民館に、貼ってくださいと文書でお願いするとか。
- 小寺書記　　A3にして貼ってもらうようなイメージか。
- 澁谷委員　　要望したらだいたいやっていただけるだろう。
- 西川副委員長　　回収ボックスを置いてあるので、担当の人が持って行って貼ったらどうか。コミュニケーションが深まると思うが。
- 近重係長　　施設に確認してやってもらいたい。
- 三浦委員長　　各公民館に拡大したものを貼っていただく。今の予算内でできることであればそういうこともしながら。
- 西川副委員長　　今ので思い出したのだが、議会だよりの今回のアンケートの締切が多分11月末日になっていたと思うが、実際の議会だよりの編集になると次号は12月定例会議が終わってからだから、締切は後でもよい気がする。今はその月の月末にしているが、それでよいか。議会だよりの返答はそれで、また各要望はまた。
- 小寺書記　　あれは毎月。今回、集計して原稿にするのが結構スケジュール的にはタイトだったので、逆に2月の分ということであれば少し余裕はあるのかなと。
- 西川副委員長　　そのほうが返答も作れる。今回はもう昨日の今日なので。
- 小寺書記　　では11月末日で。
- 西川副委員長　　はい。
- 三浦委員長　　その他何かあるか。
- 笹田委員　　先ほど西川副委員長が言われたが、SNSを利用することが今後必要になってくるかと思う。今は F a c e b o o k だけではなくイ

ンスタもあるしLINEもあるしTwitterもあるので、研究もしていかないといけないと思う。誰が更新するかとか。せっかく作るなら周知は少なからず若い方とか高齢者でもしている方もあるので、よいツールにはなるのではないかと。個人より正式な浜田市議会としてのものがあれば、より一層広報につながるのではないかとと思う。

三浦委員長

非常に重要な案件だと思うのだが、どういったメディアを使ったほうがよいのかとか、更新についてもどういう情報を載せたらよいか、フリーディスカッションでもよいと思うが、何か案があってから議論したほうがよいかと思う。副委員長からのご提案でもあったので、どのようにするかこちらで案を作って、皆にご意見をうかがうようにしたい。それでよいか。

西川副委員長

前に視察に行った焼津市はFacebookをされていたが、ほとんど閲覧数が少ない。今も時々流れてくるが。議会でやるにしたら出すものに制限があるということであまりいろいろなものが出せないみたい。作っても役に立たないといけないので、作ったものをまた皆で拡散する仕組みを作らないと駄目かなと思う。法律的な制限があるのか。

近重係長

焼津市は私が最初に行ったところである。一つは、各議員の考えが入るとまずいというところもあって、Facebookのページに映る画像が議席とか、議長席に人が映っていない空席の画像や、入り口の扉とか、あとは会議の予定や、議長がどこかの団体と交流されているのを載せているとか。課題の一つとして「私はFacebookをやっていないので他のSNSでもやってくれ」となるとアカウントを複数取らないといけないのが結構課題だとおっしゃった。西川副委員長はそこを指して広げるという話をされたのだろう。

西川副委員長

あとは更新しないと見てもらえないので、誰が更新するかとなる。

澁谷委員

内容が難しい。

三浦委員長

その辺は研究が必要かなと思う。もちろんこういうminiやウェブに載せているものは皆がやっている情報発信ツールで、議会としてもこういうものを行っているというのはぜひご協力いただきたいが、議会として直接どういう形で、どういうアプリで発信していくかは、増やしていくと負担がとても大きくなるなどいろいろとあ

るので、研究してみたい。よろしいか。

( 「はい」という声あり )

ではそれで。またご提案させていただく。

その他にあるか。

小寺書記

皆から特にならぬようなら、次回の委員会の日程についてご相談させていただきたいのだが、先ほどの市民一日議会の提案を全員協議会の場でということがあったので、11月の全員協議会の前、11月上旬、10月下旬くらいのところでどうかと思うのだが、いかがだろうか。

《 以下、日程調整 》

三浦委員長

では28日、水曜日、10時。

小寺書記

第4委員会室で。

三浦委員長

お願いします。ではそれまでにまた詰めて、提案書を作成しておきたい。よろしいか。

( 「はい」という声あり )

では、長時間にわたって感謝する。紙面もリニューアルしたので引き続きよろしくをお願いします。

[ 11時 49分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀